



小学生用 人権教室のご案内

高松法務局

香川県人権擁護委員連合会



人権イメージキャラクター
「人KENまもる君」

人権イメージキャラクター
「人KENあゆみちゃん」

は し が き

法務省の人権擁護機関（法務局及び人権擁護委員組織体、以下「当機関」といいます。）では、日頃から、国民の皆様一人一人の人権意識を高め、人権への理解を深めていただくための様々な人権啓発活動を行っています。

このうち、特に小中学校で開催させていただいている「人権教室」につきましては、児童生徒が思いやりの心の大切さを学び、豊かな人権感覚を身に付ける効果が期待されるとして、これまでも多くの小中学校においてワークショップ形式等による参加型・体験型の教室を開催しているところです。また、最近では、特に学校公開日に合わせた「人権教室」の依頼も増えてきている傾向にあります。

当機関では、「人権教室」で取り扱うテーマにつきましても、多様化する様々な人権課題に応じて、いじめ等の子どもの人権課題のほか、高齢者、障害のある人、外国人、性的少数者（LGBT）の人権課題や、インターネット・SNSによる人権侵害など、内容の更なる充実に努めるとともに、今般、「人権教室」で使用する教材の一例を紹介する冊子を御用意させていただきました。

小中学校の関係者の皆様におかれましては、児童生徒に「人を思いやる心の大切さ」、「生命の尊さ」を学ぶ機会として、また、各学校の年間授業カリキュラムにおける総合的な学習の時間、あるいは道徳科の授業等の一環として、当機関が実施する「人権教室」を是非とも積極的かつ計画的に御活用いただきますようよろしくお願い申し上げます。

令和5年2月

高松法務局人権擁護部長
香川県人権擁護委員連合会長

人権教室の教材目次（小学校用）

1 小学生1、2年生向け

番号	道徳的価値	カテゴリー	タイトル	時間	掲載ページ
1	親切、思いやり 友情、信頼	こども一般	人KENまもる君とあゆみちゃん 世界をしあわせに	45分	1
2	正しい判断	こども一般	ねずみきょう	45分	3
3	親切、思いやり	いじめ	ぐらぐらもりのおばけ	45分	5
4	親切、思いやり 友情、信頼	いじめ	白い魚とサメの子	45分	7
5	親切、思いやり	いじめ	ずっとともだちでいたいから	45分	9
6	親切、思いやり	こども一般	しろいぞうのはなし	45分	11
7	親切、思いやり 友情、信頼	こども一般	けんかのあとのごめんなさい	45分	13

2 小学生3、4年生向け

番号	道徳的価値	カテゴリー	タイトル	時間	掲載ページ
1	友情、信頼	いじめ	プレゼント	45分	15
2	友情、思いやり	障がいのある人一般	桃色クレヨン	45分	17

3 小学生5、6年生向け

番号	道徳的価値	カテゴリー	タイトル	時間	掲載ページ
1	国際理解、国際貢献	偏見、差別的取扱い	外国人と人権 ～違いを認め、共に生きる～ (家庭、地域で見られる偏見や差別)	45分	19
2	親切、思いやり 友情、信頼	いじめ	勇気のお守り	45分	21
3	親切、思いやり 友情、信頼	いじめ	自分の胸に手を当てて	45分	23

※本パンフレットの内容はあくまで一例です。

上記以外の教材は、法務省HP (<https://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken96.html>) をご覧ください。

ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

〈お問合せ先〉高松法務局人権擁護部第一課 TEL 087-821-7850

担当の人権擁護委員（裏表紙下部に記載）



番号	1	対象年齢層 (学年)	小学校1、2年生
----	---	---------------	----------

カテゴリ1 (大分類)	こども	カテゴリ2 (小分類)	こども一般
タイトル	人KENまもる君とあゆみちゃん 世界をしあわせに		難易度 初級
時間	45分	対象人数 の目安	学級35～40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型 (又は椅子なし型)		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・どうすればみんなが楽しく幸せに暮らすことができるかを考える。 ・いじめ、仲間外れなどをしない、させないための方法を考え、身に付ける。 		
教材の 種類	<p>①DVD「人KENまもる君とあゆみちゃん 世界をしあわせに」(約15分) ※ YouTubeによる視聴も可能 (https://www.youtube.com/watch?v=sGzN_3z_v8w)</p> <p>②内容 世の中の全ての人々が幸せになることを願い、旅をしている人KENまもる君とあゆみちゃん。 ある日、野菜村を訪れた二人は、アニマルタウンに届ける新鮮な野菜がマントお化けに襲われ、村人が 困っていることを知って、手助けをしようと出掛けたが、そのマントお化けの正体とは・・・。</p>		
備考	<p>使用教材：DVD「人KENまもる君とあゆみちゃん 世界をしあわせに」 (スクリーンで上映する場合は物語データ)</p> <p>使用物品：まもるくん、あゆみちゃんの人形 SOSミニレター (スクリーンで上映する場合はプロジェクター、スクリーン、パソコン)</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面／行動／問い)	留意点
導入	15分	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員について ・人権について ・本日のテーマについて 	<p>はじめに</p> <p>(1)始まりの挨拶</p> <p>(2)人権擁護委員及び活動の紹介</p> <p>(3)「人権」について簡単なお話</p> <p>(4)本日のテーマ（いじめ）について、話の概要</p>	
展開	15分	人権啓発DVD鑑賞	<p>DVD「人KENまもる君とあゆみちゃん 世界をしあわせに」を上映する。</p> <p>※観にくい生徒がいないか確認する。プロジェクターの操作等、担任の先生にお手伝いいただく。</p>	
	10分	内容の振り返り	<p>登場人物の気持ちや行動を考えるために、次のような発問をし、いじめをなくすにはどうすればよいか考えさせる。</p> <p>〈発問例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニンジンさんとピーマンさんの心の中は？ <p>嫌われて悔しい、仲間外れにされて寂しい 嫌だ、悲しい、他の野菜をうらんだ</p> <p>→人の心も同じであることを説明 仲間外れ、いじめ、いじわる、無視</p> <p>→黙って見ていることもいけない、勇気を出して「いけないよ」と言おう</p> <p>※板書作業を並行して行う。</p>	
まとめ	5分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◆本日の内容の総論 <p>みんなの周りには先生方・家族の方・友達がいる。 苦しいな、困ったなと思う心は相談すると気持ちが軽くなるよだから誰かに相談しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「子どもの人権 1 1 0 番」、「SOSミニレター」 	

番号	2	対象年齢層 (学年)	小学校1、2年生
----	---	---------------	----------

カテゴリ1 (大分類)	こども	カテゴリ2 (小分類)	こども一般
タイトル	ねずみきょう		難易度 初級
時間	45分	対象人数 の目安	学級35～40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型、島型		
ねらい	人はもともと信じやすく、思い込むと修正しにくくなるという性質を持っていることを認識した上で、物事を冷静になって考え、正しく判断することの大切さを学ぶ。		
教材の 内容	<p>①紙芝居「ねずみきょう」(約15分)</p> <p>②内容 ひとり暮らしのおばあさんが、旅のお坊さんに一晩泊めてほしいと頼まれた。おばあさんは、お経を知らなかったの、お坊さんを泊め、「お経を教えてください。」と頼んだ。ところが、このお坊さん、格好だけでお経を知らなかった。困ったお坊さんは、仏壇の前に座り、目の前に現れたねずみを見て、「オンチョロチョロ、デテコラレソウロウ」などとねずみの様子をお経のように唱え続けた。次の日、お坊さんは逃げるように立ち去った。</p> <p>それから、おばあさんは、それを本物のお経と信じ忘れないよう、毎日、「オンチョロチョロ、オンチョロチョロ」と唱えた。ある晩、泥棒が、おばあさんの家に忍びこんだところ、家の中からお経が聞こえてくる。「オンチョロチョロ、アナゾキソウロウ、オンチョロチョロ、デテコラレソウロウ」と。泥棒は、自分のことを言われていると思い、逃げていった。</p>		
備考	<p>使用教材：紙芝居「ねずみきょう」 (スクリーンで上映する場合は物語データ)</p> <p>使用物品：SOSミニレター (スクリーンで上映する場合はプロジェクター、スクリーン、パソコン)</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面／行動／問い)	留意点
導入	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員について ・人権について ・本日のテーマについて 	<p>はじめに</p> <p>(1) 始まりの挨拶</p> <p>(2) 人権擁護委員及び活動の紹介</p> <p>(3) 「人権」について簡単なお話</p> <p>(4) 本日のテーマについて（話の概要）</p>	
展開	15分	紙芝居実演	<p>紙芝居「ねずみきょう」を実演する（又はスクリーンで上映）。</p> <p>※スクリーンを使用する場合には担任の先生に操作をお手伝いいただく。</p>	
	20分	内容の振り返り	<p>○紙芝居を見て思ったことや感じたことを振り返り、物事を冷静になって考え、正しく判断するために必要なことや正しく判断することの大切さを学んでもらうため、次のような発問をする。</p> <p>〈発問例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おばあさんは、なぜでたらめな言葉をお経であると思い込んだのでしょうか？ ・おばあさんは、どのようにすれば、でたらめな言葉をお経であると思い込まなかったのでしょうか？ ・身近なことで、誤った思い込みをしたことがないかを聞いてみる。 	
まとめ	5分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本日の内容の総論 ・人はもともと信じやすく、思い込むと修正しにくくなるという性質を持っていることを認識した上で、物事を冷静になって考え、正しく判断することが大切である。 ・誤った判断によって、他人を傷つけてしまうことがある。 <p>◆ 「子どもの人権 110番」、SOSミニレターの紹介</p>	

番号	3	対象年齢層 (学年)	小学校1、2年生
----	---	---------------	----------

カテゴリ1 (大分類)	こども	カテゴリ2 (小分類)	いじめ
タイトル	ぐらぐらもりのおばけ		難易度 初級
時間	45分	対象人数 の目安	学級35～40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型		
ねらい	「いじめはいけないこと」をテーマとした簡易な物語を通じて、やさしい心、思いやりの心を学ぶ。		
教材の 内容	<p>①紙芝居「ぐらぐらもりのおばけ」(約15分)</p> <p>②内容 どこからか聞こえる誰かの泣き声を探して、まもるくんとあゆみちゃんがぐらぐらもりに行くと、狐のコンタと狸のポンスケにいじめられているモグラのモグちゃんに出会う。モグちゃんはモグラだからという理由でモグラ叩きのいじめを受けている。まもるくんとあゆみちゃんは、コンタとポンスケを少しこわがらせて、いじめをやめさせようと、モグラたちと協力してオバケに扮し、コンタとポンスケをこわがらせる。コンタとポンスケは森で一番のあばれ者である狼のガブリに助けを求め、ガブリがオバケと対峙することでオバケの正体がモグラたちであることを知る。コンタとポンスケは、いつも自分たちがモグラにいじめられているとガブリに訴えるが、ガブリはそのウソを見抜き、コンタとポンスケに「弱い者いじめやウソつきは許さない」と一喝する。皆に仲直りしてもらったため、まもるくんとあゆみちゃんの提案により、森の仲間たちが輪になり、「大事なのちだよ、いじめめることはいけない、いけない」と楽しく歌って踊り、ぐらぐらもりが楽しい歌の森となる。</p>		
備考	<p>使用教材：紙芝居「ぐらぐらもりのおばけ」 (スクリーンで上映する場合は物語データ)</p> <p>使用物品：まもるくん、あゆみちゃんの人形 SOSミニレター (スクリーンで上映する場合はプロジェクター、スクリーン、パソコン)</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面／行動／問い)	留意点
導入	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員について ・人権について ・本日のテーマについて 	<p>はじめに</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 始まりの挨拶 (2) 人権擁護委員及び活動の紹介 (3) 「人権」について簡単なお話 (4) 本日のテーマについて、話の概要 	
展開	15分	紙芝居実演	<p>紙芝居「ぐらぐらもりのおばけ」を実演する（又はスクリーンで上映）。</p> <p>※スクリーンを使用する場合には担任の先生に操作をお手伝いいただく。</p>	
	20分	内容の振り返り	<p>紙芝居を見て思ったことや感じたことを振り返り、やさしい心、思いやりの心を学んでもらうため、次のような発問をする。</p> <p>〈発問例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのキャラクターが好きですか？ どのところが好きですか？ ・モグちゃんがかawaiiそうと思いましたか？ どうしてかawaiiそうだと思いましたか？ ・もしも自分がモグちゃんだったら、どのような気持ちになると思いますか？ ・友達がモグちゃんのようにいじめられていたら、どうしますか？ 	
まとめ	5分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本日の内容の総論 発表内容を踏まえて、なぜいじめがいけないのかの理解を深め、やさしい心、思いやりの心を持つことの大切さを伝える。 ・自分がいじめられたら嫌な気持ちになること、それは友達も同じ ・自分がやさしくされたら嬉しい気持ちになること、それは友達も同じ ・自分と友達の気持ちを考えてあげることが、思いやりの心、やさしい心 ◆ 「子どもの人権 110番」、SOSミニレターを紹介 	

番号	4	対象年齢層 (学年)	小学校1、2年生
----	---	---------------	----------

カテゴリ1 (大分類)	こども	カテゴリ2 (小分類)	いじめ
タイトル	白い魚とサメの子		難易度 初級
時間	45分	対象人数 の目安	学級35～40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・誰にでも必ず良いところがあることを知り、それぞれが持つ自分らしさに気付かせる。 ・他人との違いを認め合い、思いやりの心の大切さを学ぶ。 ・いじめを見て見ぬふりをしたり、一緒になってからかったりすることも、いじているのと同じことであることを気付かせる。 ・いじめのない学級づくりの実現に努めようとする態度を養う。 		
教材の 内容	<p>①紙芝居「白い魚とサメの子」(約15分)</p> <p>②内容 いつもいじめられてばかりの白い魚は、「ぼくなんていなくなってもいい、サメに食べられちゃってもいいかな……」と考えていた。そのことを初めて知ったお母さんに泣きながら「あなたがサメに食べられたら悲しい」と諭される。</p> <p>元気になった白い魚は、みんなと同じになれば友達になれると思い努力したがダメで、泣きながら眠ってしまった。こんな時、夢の中に現れた龍が「自分らしさを大切にしろ……」と教えてくれた。</p> <p>ある日、嵐がやってきた。白い魚は勇気を出して、自分をいじめていた魚たちを助けた。</p> <p>自分らしさについて考えていた白い魚は、勇気と優しさを持つととても気持ちがいいし、たくさんの仲間ができることに気付いた。</p>		
備考	<p>使用教材：DVD「白い魚とサメの子」 (スクリーンで上映する場合は物語データ)</p> <p>使用物品：SOSミニレター (スクリーンで上映する場合はプロジェクター、スクリーン、パソコン)</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面／行動／問い)	留意点
導入	8分	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員について ・人権について ・本日のテーマについて 	<p>はじめに</p> <p>(1) 始まりの挨拶</p> <p>(2) 人権擁護委員及び活動の紹介</p> <p>(3) 「人権」について簡単なお話</p> <p>(4) 本日のテーマについて、話の概要</p>	
展開	15分	紙芝居実演	<p>紙芝居「白い魚とサメの子」を実演する（又はスクリーンで上映）。</p> <p>※スクリーンを使用する場合には担任の先生に操作をお手伝いいただく。</p>	
	17分	内容の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ○ 相手の気持ちを考えよう <ul style="list-style-type: none"> ・白い魚の気持ち ・白い魚のお母さんの気持ち ○ 命の大切さ <ul style="list-style-type: none"> ・いなくなってもいい人はいるのか ・なぜ命は大切か ○ お互いの違いを認める <ul style="list-style-type: none"> ・自分らしさを大切に ・白い魚が仲間になるために考えたこと 	
まとめ	5分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本日の内容の総論 笑顔で仲良く生活することの重要性を教える。 →自分がされて嫌なことは、人にもしない。 →自分が言われて嫌なことは、人にも言わない。 ◆ 「子どもの人権 110番」、SOSミニレターの紹介 	

番号	5	対象年齢層 (学年)	小学校1、2年生
----	---	---------------	----------

カテゴリ1 (大分類)	こども	カテゴリ2 (小分類)	いじめ
タイトル	ずっとともだちで いたいから		難易度 初級
時間	45分	対象人数 の目安	学級35～40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・他者の心や体を傷つけることはしてはならないことであることを理解する。 ・相手の気持ちになって「思いやりの心」を持つことが必要であることに気付く。 		
教材の内容	<p>①紙芝居「ずっとともだちで いたいから」(約20分)</p> <p>②内容 三羽のカラスは、スズメと遊ぶ仲間のカラスがうらやましいのですが、それをうまく伝えることができず、スズメを「ちいさい＝弱いもの」として、理由なくからかったり、いじめたりします。スズメは無垢な心でともだち関係を築いているのに、理由のないいじめに悩み傷つきます。 しかし、「ずっと、ともだちでいたい」という思いから、フクロウ先生の励ましもあって、自分の気持ちをはっきりと伝えます。 また、三羽のカラスは、たとはいじめの認識がなく遊びの延長であったとしても、他者の心や体を傷つけることは「絶対にしてはならないこと」であり、相手の気持ちになって思いやりの心を持つことが必要であることに気付きます。</p>		
備考	<p>使用教材：紙芝居「ずっとともだちで いたいから」 (スクリーンで上映する場合は物語データ)</p> <p>使用物品：SOSミニレター (スクリーンで上映する場合はプロジェクター、スクリーン、パソコン)</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面／行動／問い)	留意点
導入	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員について ・人権について ・本日のテーマについて 	<p>はじめに</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 始まりの挨拶 (2) 人権擁護委員及び活動の紹介 (3) 「人権」について簡単なお話 (4) 本日のテーマについて、話の概要 	
展開	10分	紙芝居実演① (前半)	紙芝居「ずっとともだちでいたいから」前半を実演する。	
	5分	内容の振り返り① (前半)	<p>他者の心や体を傷つけることはいじめであり、いけないことであることを理解させるために、グループに分かれ、登場人物の行動などに対しての自分の気持ちについて話し合う。</p> <p>〈話し合い例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までのお話の中で、悲しい、怖いという気持ちになった場面はありましたか？ また、それはどの場面ですか？ ・軽い気持ちや遊びであれば、友だちにいじわるしてもいいのでしょうか？ 	
	10分	紙芝居実演② (後半)	紙芝居「ずっとともだちでいたいから」後半を実演する。	
	10分	内容の振り返り② (後半)	<p>「思いやりの心」を持つことの必要性を気付かせるために、グループに分かれ、登場人物の行動などに対しての自分の気持ちについて話し合う。</p> <p>〈話し合い例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲直りしたとき、カラスはどんな気持ちだったのでしょうか？ ・なぜカラスたちはカータンの家を一緒に作り直そうとしたのでしょうか？ ・困ったことがあったとき、皆さんだったらどうしますか？ 	
まとめ	5分	まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本日の内容の総論 みんなと仲良くするために、お互い思いやりの心を持つことが重要であり、それを行動で表すことの大切さを伝える。 ◆ 「子どもの人権 110番」、SOSミニレターの紹介 	

番号	6	対象年齢層 (学年)	小学校1、2年生
----	---	---------------	----------

カテゴリ1 (大分類)	こども	カテゴリ2 (小分類)	こども一般
タイトル	しろいぞうのはなし		難易度 初級
時間	45分	対象人数 の目安	学級35～40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型		
ねらい	私たちの周りには様々な個性（違い）を持っている人がいて、それぞれの個性を認め合うことによって、みんなが幸せに暮らすことのできる社会（共生社会）を作ることが大切であることを学ぶ。		
教材の内容	<p>①紙芝居「しろいぞうのはなし」（約15分）</p> <p>②内容 南の国の森のゾウの村には、大きなゾウ、小さなゾウ、鼻の長いゾウ、鼻の短いゾウ、大人のゾウ、お年寄りのゾウ、こどものゾウなど様々なゾウが暮らしていました。やさしくておとなしい白いゾウの「しろくん」は、かけっこやおしゃべりが苦手。みんなと遊ばなくて、すぐ泣きべそをかきます。でも、みんな「しろくん」となかよく暮らしていました。</p> <p>ある日、森が大火事になりました。かすかな匂いの違いの分かる「しろくん」がいち早く火事に気づき、おかげで仲間のゾウはみんな無事に逃げることができました。でも、「しろくん」を助けようとしたお母さんゾウが焼け死んでしまいました。そのような中、「しろくん」は、立派な若者になり、においを嗅ぎ分ける力で仲間を助け、村長に選ばれることになりました。</p>		
備考	<p>使用教材：紙芝居「しろいぞうのはなし」 (スクリーンで上映する場合は物語データ)</p> <p>使用物品：SOSミニレター (スクリーンで上映する場合はプロジェクター、スクリーン、パソコン)</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面／行動／問い)	留意点
導入	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員について ・人権について ・本日のテーマについて 	<p>はじめに</p> <p>(1) 始まりの挨拶</p> <p>(2) 人権擁護委員及び活動の紹介</p> <p>(3) 「人権」について簡単なお話</p> <p>(4) 本日のテーマについて、話の概要</p>	
展開	15分	紙芝居実演	<p>紙芝居「しろいぞうのはなし」を実演する（又はスクリーンで上映）。</p> <p>※スクリーンを使用する場合には担任の先生に操作をお手伝いいただく。</p>	
	20分	内容の振り返り	<p>「しろいぞうのはなし」を聞いて、思ったことや感じたことを振り返り、様々な個性を認め合う大切さを学ぶために、次のような発問をする。</p> <p><発問例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小さい頃の白いゾウのしろ君は、どんなこどもでしたか。 ・弱虫でみんなとうまく遊べないしろ君や友だちに対し、村長さんは何と言いましたか。 ・森の大火事に一番最初に気が付いたのは誰でしたか。 ・しろ君の得意なことは何ですか。 ・立派な若者になったしろ君が村長に選ばれたのはどうしてでしょうか。 	
まとめ	5分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本日の内容の総論 発表の内容を踏まえて、誰にでもみんなと違った良いところがあり、それぞれの違いを認め、その良さを生かして共に助け合い、仲良く生活すること（共生社会）の大切さを伝える。 ◆ 「子どもの人権 110番」、SOSミニレターの紹介 	

番号	7	対象年齢層 (学年)	小学校1、2年生
----	---	---------------	----------

カテゴリ1 (大分類)	こども	カテゴリ2 (小分類)	こども一般
タイトル	けんかのあとのごめんなさい		難易度 初級
時間	45分	対象人数 の目安	学級35～40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型		
ねらい	<p>子りすと子ぎつねの気持ちを考えながら、友達を思い合うことの大切さを学ぶ。 もし、友達とけんかをして、すぐに仲直りをするのが大切だということを学ぶ。</p>		
教材の 内容	<p>①紙芝居「けんかのあとのごめんなさい」(約10分)</p> <p>②内容 子うさぎと子りすと子ぎつねが森にやってきました。子りすと子ぎつねは、遊び方のことで大げんかとなり、子うさぎを置き去りにしたまま、それぞれどこかに行ってしまいました。 その夜、子うさぎは、お母さんに字を教わりながら、大げんかの話をしました。お母さんは、みんなに字を教える先生です。お母さんと子うさぎは、子りすと子ぎつねに早く仲直りしてほしいと思いました。 次の朝、子りすが、子うさぎのお母さんのところにやってきました。「ごめんなさい」の字を紙に書いてもらいたくて、紙と鉛筆を持ってきたのです。子うさぎのお母さんと話をした子りすは、ほっとして帰りました。 その後、子ぎつねもやってきて、子りすと同じことを言って、「ごめんなさい」の字を紙に書いてもらいました。 紙を持って謝りに行こうとした子りすと子ぎつねは、ばったりと鉢合わせになり、「ごめんなさい」と書いた紙を渡し合って、仲直りすることができました。 子りすと子ぎつねがそろって、子うさぎのところへやってきた様子を、子うさぎのお母さんはうれしそうに見ていました。</p>		
備考	<p>使用教材：紙芝居「けんかのあとのごめんなさい」 (スクリーンで上映する場合は物語データ)</p> <p>使用物品：SOSミニレター (スクリーンで上映する場合はプロジェクター、スクリーン、パソコン)</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面/行動/問い)	留意点
導入	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員について ・人権について ・本日のテーマについて 	<p>はじめに</p> <p>(1) 始まりの挨拶</p> <p>(2) 人権擁護委員及び活動の紹介</p> <p>(3) 「人権」について簡単なお話</p> <p>(4) 本日のテーマについて、話の概要</p>	
展開	10分	紙芝居実演	<p>紙芝居「げんかのあとのごめんなさい」を実演する（又はスクリーンで上映）。</p> <p>※スクリーンを使用する場合には担任の先生に操作をお手伝いいただく。</p>	
	25分	内容の振り返り	<p>登場人物の気持ちを考えることを通じて、友達と仲良くすることの大切さを育む。</p> <p><発問例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子りすと子ぎつねが大げんかした日の夜、子うさぎはお母さんとのような話をしたでしょうか。 ・次の日の朝早く、子りすと子ぎつねは、なぜ子うさぎのお母さんのところにやってきたのでしょうか（人権擁護委員はお母さん役になりきり、役割演技をする。）。 ・ばったりと鉢合わせした子りすと子ぎつねは、どのような会話をしたのでしょうか（役割演技で会話させる。）。 ・子りすと子ぎつねがそろって子うさぎのところにやってきたとき、それぞれどのようなことを言ったでしょうか。 	
まとめ	5分	本日のまとめ	<p>◆ 本日の内容の総論</p> <p>登場人物から学んだことを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子りすと子ぎつね 早く仲直りしたくて解決方法を考え、子うさぎのお母さんに字を教わりに行き、謝ったこと → 友達を思う心 ・子うさぎ 早く仲直りしてほしいと願い、大げんかのことをお母さんに話したこと → 友達を思う心 ・子うさぎのお母さん 誰からの相談にも乗り、心配なことや困っている問題を解決していく態度をやさしく教えてくれること <p>◆ 「子どもの人権 110番」、SOSミニレターの紹介</p>	

番号	1	対象年齢層 (学年)	小学校3、4年生
----	---	---------------	----------

カテゴリ1 (大分類)	こども	カテゴリ2 (小分類)	いじめ
タイトル	プレゼント		難易度 初級
時間	45分	対象人数 の目安	学級35～40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型 (又は椅子なし型)		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・「いじめ」という行為を例に、登場人物それぞれの気持ちを考えるを通して、他人への思いやりやいたわりの心といった人権尊重意識を養う。 ・正しい行動をとることの難しさや大切さに気づき、人間の弱さを克服しようとする態度を育む。 		
教材の 内容	<p>①DVD「プレゼント」(約15分)</p> <p>②内容 小学4年生の綾香は美由紀への誕生日プレゼントをきっかけに、美由紀たちからいじめられるようになる。美由紀にいじめられるようになってから、それまで仲の良かった茜や恵まで綾香を避けるようになり、やがてクラス中から仲間はずれにされるようになった。ただひとり、同じようにクラスで仲間はずれにされている麻里だけは綾香をかばったが、ある出来事がきっかけで、綾香は学校を休んでしまう。</p> <p>そんな矢先、美由紀が誕生日に父親からプレゼントされた子犬のコロがいなくなってしまう。美由紀にいじめられた綾香は、コロを探すことを悩むが、いじめをいじめで返したらいじめはなくならないと思い、コロを探すことに決める。</p>		
備考	<p>使用教材：DVD「プレゼント」、ワークシート</p> <p>使用物品：テレビ及びDVDプレイヤー (またはパソコン、プロジェクター及びスクリーン)、黒板 (ホワイトボード)、質問カード、SOSミニレター</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面/行動/問い)	留意点
導入	7分	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員について ・人権について ・本日のテーマについて 	<p>はじめに</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 始まりの挨拶 (2) 人権擁護委員及び活動の紹介 (3) 「人権」について簡単なお話 (4) 本日のテーマ（いじめ）について、話の概要 	
展開	15分	人権啓発DVD鑑賞	<p>DVD「プレゼント」を上映する。</p> <p>※観にくい生徒がないか確認する。プロジェクターの操作等、担任の先生にお手伝いいただく。</p>	
	20分	内容の振り返り	<p>登場人物の気持ちや行動を考えるために、次のような発問をし、いじめをなくすにはどうすればよいか考えさせる。</p> <p>〈発問例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・綾香さんはなぜ美由紀さんに仲間外れにされたのでしょうか？ ・仲間外れはいじめでしょうか？ ・もしみなさんが綾香さんだとしたらどんな気持ちでしょうか？ ・綾香さんのところに行った麻里さんの心の中はどんな気持ちだったのでしょうか？ ・コロがいなくなった美由紀さんの心の中はどんな気持ちだったのかな？ ・仲間外れにされていたのになぜ一緒にコロを探し始めたのでしょうか？ ・みんなで協力してコロを一生懸命探しました。コロが見つかった時のみんなの気持ちはどうだったのでしょうか？ ・綾香さんに「ごめんなさい」と謝った時の美由紀さんはどんな気持ちだったのでしょうか？ ・コロがいなくなったことで、仲間外れにしていたみんなの心は変わったのか？みなさんは変わったと思いますか？ 	
まとめ	3分	本日のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 本日の内容の総論（本日考えたことを踏まえて） ・ いじめのない学校やクラスにするには ・ やさしさや思いやりの気持ちについて ・ もしいじめに直面したら ◆ 「子どもの人権 110番」、「SOSモニター」、「LINE 人権相談」、「# No Heart No SNS（※）」（https://no-heart-no-sns.smaj.or.jp/）の紹介 ※ 法務省が、総務省や SNS 事業者団体と共同して取り組んでいる、SNS 上のやり取りで悩む方に役立てていただくための特設サイト 	

番号	2	対象年齢層 (学年)	小学校3、4年生
カテゴリ1 (大分類)	障害のある人	カテゴリ2 (小分類)	障害のある人一般
タイトル	桃色のクレヨン		難易度 初級
時間	45分	対象人数 の目安	学級35～40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・学校内や身近にいる知的障害者と関わるに当たり、思い込みや偏見をなくす。 ・知的障害者も豊かな感情や様々な才能があり、自分たちと何ら変わりがないことを知らせる。 ・知的障害のあるいとこのふれあいを通じて、「かけがえのない命」と「思いやりの心」を大事にすることに気づく主人公の姿から、人権尊重の大切さを学ぶ。 ・障害のある人との関わりについて考える。 		
教材の 内容	<p>①DVD「桃色のクレヨン」(約28分) ※ YouTubeによる視聴も可能 (https://www.youtube.com/watch?v=jPRKoA0040k)</p> <p>②内容 美奈子のいとこの雪が8年ぶりにシンガポールから遊びに来ることになった。外国育ちで1才年上ということもあり、とても「素敵なお姉さん」というイメージで再会を楽しみにしていた。そしてそのことを友達に自慢してしまう。 しかし、再会してみると雪に知的障害があることが分かり傍然としてしまう。そのことをクラスみんなに隠すためにうそをついたが、そのうそがばれて、友達との関係もぎくしゃくしてしまい、雪につらく当たってしまう。 しかし、一緒に生活していく中で徐々に雪の優しさや才能に驚き、美奈子は、今まで持っていた障害者に対する偏見を払拭していき、大切なことに気付いていく。</p>		
備考	<p>使用教材：DVD「桃色のクレヨン」、ワークシート 使用物品：テレビ及びDVDプレイヤー（またはパソコン、プロジェクター及びスクリーン）、黒板（ホワイトボード）、SOSミニレター</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面/行動/問い)	留意点
導入	7分	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員について ・人権について ・本日のテーマについて 	<p>はじめに</p> <p>(1) 始まりの挨拶</p> <p>(2) 人権擁護委員及び活動の紹介</p> <p>(3) 「人権」について簡単なお話</p> <p>(4) 本日のテーマについて、話の概要</p>	
展開	28分	人権啓発DVD鑑賞	<p>DVD「桃色のクレヨン」を上映する。</p> <p>※観にくい生徒がいないか確認する。プロジェクターの操作等、担任の先生にお手伝いいただく。</p>	
	7分	内容の振り返り	<p>DVD視聴後の振り返り</p> <p><みなこ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうして、友だちにウソをついたのでしょうか。 →自分のイメージとはちがう、障がいのある子だったから <p><ゆき></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆきが探していたクレヨンの色はどんな色だったでしょう。 どうしてその色を探していたのでしょうか。 →桃色はピンクと間違ってしまうが雪にとって桃色は違う。 <p><さき・なつこ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうして、みなこを仲間はずれにしようとしたのでしょうか。 <p><けいすけ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆきのどんなところがすきなのでしょうか。 	
まとめ	3分	本日のまとめ	<p>◆本日の内容の総論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みなさんが障がい者に対してできることはどんなことか？ ・「障害」をなくすべきものとするのではなく、その人の「個性」の一つと考え、「障害」がある人も、安心して暮らしていけるような社会を作っていくことを目指す。 <p>◆「子どもの人権110番」、「SOSモニター」、「LINE 人権相談」、「# No Heart No SNS (※)」 (https://no-heart-no-sns.smaj.or.jp/) の紹介</p> <p>※法務省が、総務省やSNS事業者団体と共同して取り組んでいる、SNS上のやり取りで悩む方に役立てていただくための特設サイト</p>	

番号	1	対象年齢層 (学年)	小学校5、6年生
カテゴリ1 (大分類)	外国人	カテゴリ2 (小分類)	偏見、差別的取扱い
タイトル	外国人と人権～違いを認め、共に生きる～ (家庭、地域で見られる偏見や差別)	難易度	中級
時間	45分	対象人数 の目安	学級35～40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型、島型		
ねらい	<p>・国際化の時代の進展に伴い、地域や学校の中での多文化が進み、多様な人々が共に暮らす社会となっている。外国人に対する偏見や差別をなくし、多様性を認め、人が人を大切にする人権尊重の社会を築くために私たちにどのようなことが問われているのか学ぶ。</p>		
教材の 内容	<p>①DVD「外国人と人権～違いを認め、共に生きる～」(約8分) (家庭、地域で見られる偏見や差別) ※ YouTubeによる視聴も可能 (https://www.youtube.com/watch?v=quDjCcdLqkw&list=PLSmkcN62qni5XIo3lhZ7CEnLTgOkR9xk4&index=16)</p> <p>②内容 住宅街のごみ集積所で、地域の住民が、2か月前に越してきた外国人の家族についてうわさをしている。ごみ出しのルールや、夜の大声などの問題で迷惑になっているというのがその内容だ。住民は大家に苦情を言いに行く。しかし、実際に会って話をすることで、誤解が解け、少しずつ外国人一家と地域住民は打ち解けていく。</p>		
備考	<p>使用教材：DVD「外国人と人権～違いを認め、共に生きる～」(家庭、地域で見られる偏見や差別)、ワークシート 使用物品：テレビ及びDVDプレイヤー(またはパソコン、プロジェクター及びスクリーン)、黒板(ホワイトボード)、SOSミニレター</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面/行動/問い)	留意点
導入	7分	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員について ・人権について ・本日のテーマについて 	<p>はじめに</p> <p>(1) 始まりの挨拶</p> <p>(2) 人権擁護委員及び活動の紹介</p> <p>(3) 「人権」について簡単なお話</p> <p>(4) 本日のテーマ（外国人差別、偏見）について</p>	
展開	8分	人権啓発DVD鑑賞	<p>DVD「外国人と人権～違いを認め、共に生きる～」(家庭、地域で見られる偏見や差別) を上映する。</p> <p>※観にくい生徒がないか確認する。プロジェクターの操作等、担任の先生にお手伝いいただく。</p>	
	7分	内容の振り返り① (記入)	外国と日本の文化の違いや登場人物の心情を考えるために、ワークシートを配布し、記入してもらう。	
	15分	内容の振り返り② (意見交換)	<p>グループに分かれ、ワークシートの問いに関して、自分が考えた意見を話し合う。</p> <p>その後、グループの代表者に発表してもらう。</p>	
まとめ	8分	本日のまとめ	<p>◆本日の内容の総論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化を認め合い、尊重し、互いに助け合いながら、共に生きていく社会として「多文化共生社会」についての理解を深めることの大切さを伝える。 ・お互いを理解し、尊重する。 ・互いの違いを認めて大切にする。 <p>◆「子どもの人権110番」、「SOSミニレター」、「LINE人権相談」、「# No Heart No SNS (※)」(https://no-heart-no-sns.smaj.or.jp/) の紹介</p> <p>※法務省が、総務省やSNS事業者団体と共同して取り組んでいる、SNS上のやり取りで悩む方に役立てていただくための特設サイト</p>	

番号	2
----	---

対象年齢層 (学年)	小学校5、6年生
---------------	----------

カテゴリ1 (大分類)	こども	カテゴリ2 (小分類)	いじめ
タイトル	勇気のお守り		難易度 中級
時間	45分	対象人数 の目安	学級35～40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめが人権侵害であることを理解してもらう。 ・一人一人が大切な存在なんだと気付いてもらう。 ・相手の気持ちに気付き、お互いを思いやることがいじめの解決へつながることを認識してもらう。 ・悩み事を友だちやお家の人、先生、人権擁護委員（電話・SOSミニレター等）に相談すると、自分一人では思いつかない解決方法が見つかるかもしれないことを理解してもらう。 		
教材の 内容	<p>①DVD「勇気のお守り」（約16分） ※ YouTubeによる視聴も可能 (https://www.youtube.com/watch?v=qRiT0G3S7BQ)</p> <p>②内容 転校生の林太郎に対し、早速あだ名を付けるクラスメイト。そんな中、「人権について考えよう」をテーマにクラスで人権教室が行われ、こどもたちに「人権擁護委員」と「子どもの人権SOSミニレター」の存在を教える。ある日、いじめのきっかけとなる事件が起きる。ささいなことでこどもたちは敏感に反応し、様々な行動を起こす。しかし、SOSミニレターに勇気をもらい、自分の気持ちを素直に伝えられるようになった林太郎。クラスメイトと共に音楽発表会に望む。みんなが笑顔で終わるエンディング。 (タイトルの「お守り」は、林太郎がお母さんからもらった「お守り」と人権擁護委員からの「SOSミニレターの返事」のことを指す。)</p>		
備考	<p>使用教材：DVD「勇気のお守り」、ワークシート 使用物品：テレビ及びDVDプレイヤー（またはパソコン、プロジェクター及びスクリーン）、黒板（ホワイトボード）、SOSミニレター</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面/行動/問い)	留意点
導入	5分	・人権擁護委員について ・人権について ・本日のテーマについて	はじめに (1)始まりの挨拶 (2)人権擁護委員及び活動の紹介 (3)「人権」について簡単なお話 (4)本日のテーマ (いじめ) について、話の概要	
	16分	人権啓発DVD鑑賞	DVD「勇気のお守り」を上映する。 ※観にくい生徒がいないか確認する。プロジェクターの操作等、担任の先生にお手伝いいただく。	
展開	8分	内容の振り返り① (意見交換1)	登場人物の気持ちや行動に対しての自分の意見や考えを發表してもらおう。 〈話し合い例〉 ・いじめられている人 (林太郎) の気持ちを考える。 ・いじている人 (翔) の気持ちを考える。 ・まわりの人 (優子、洋平、未唯) の気持ちを考える。	
	3分	内容の振り返り② (意見交換2)	先生、家族、人権擁護委員など、大人に相談することについての自分の意見や考えを發表してもらおう。 (林太郎の行動の変化について)	
	8分	内容の振り返り③ (記入・発表)	いじめをなくすためにはどうしたらよいか、自分の考えをワークシートに記入してもらい、何名かの生徒に發表してもらおう。	
まとめ	5分	本日のまとめ	◆本日の内容の総論 ・いじめの防止を考える。 ・相手の気持ちを考える。 ・あなたなら何ができるか……「いじめはやめよう！」と言える勇気を持つ。 ・一人で悩まず相談相手を見つける。 ・自尊のこころと相手を認めるこころを育てる。 ◆「子どもの人権110番」、「SOSミニレター」、「LINE 人権相談」、「# No Heart No SNS (※)」 (https://no-heart-no-sns.smaj.or.jp/) の紹介 ※法務省が、総務省やSNS事業者団体と共同して取り組んでいる、SNS上のやり取りで悩む方に役立てていただくための特設サイト	

番号	3
----	---

対象年齢層 (学年)	小学校5、6年生
---------------	----------

カテゴリ1 (大分類)	こども	カテゴリ2 (小分類)	いじめ
タイトル	自分の胸に手を当てて		難易度 中級
時間	45分	対象人数 の目安	学級35～40人程度
学習形態 (教室の設定)	教室型		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめは人権侵害であることに気付く。 ・相手の気持ちに気付き、お互いを思いやることがいじめをなくすために大切であることを理解する。 ・先生や保護者、人権擁護委員などの大人に相談することで問題の解決につながることを知る。 ・インターネットを利用するときには、普段の社会生活と同じようにマナーが必要であることに気付く。 		
教材の 内容	<p>①DVD「自分の胸に手を当てて」(約15分) ※ YouTubeによる視聴も可能 (https://www.youtube.com/watch?v=JRCK4LV4puw)</p> <p>②内容 掲示板への心ない書き込みをきっかけに、不登校になるクラスメイトの優子。 そして、書き込みをした未唯もネットいじめのターゲットとなっていく。 洋平は相談電話でアドバイスを受ける。 また、先生の「クラス全員で話し合おう」という提案でクラスでの話し合いとなった。</p>		
備考	<p>使用教材：DVD「自分の胸に手を当てて」 使用物品：テレビ及びDVDプレイヤー（またはパソコン、プロジェクター及びスクリーン）、黒板（ホワイトボード）、SOSミニレター</p>		

過程	時間	ねらい	学習活動 (場面/行動/問い)	留意点
導入	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員について ・人権について ・本日のテーマについて 	<p>はじめに</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 始まりの挨拶 (2) 人権擁護委員及び活動の紹介 (3) 「人権」について簡単なお話 (4) 本日のテーマ（いじめ）について、話の概要 	
展開	15分	人権啓発DVD鑑賞	<p>DVD「自分の胸に手を当てて」視聴</p> <p>※観にくい生徒がいないか確認する。プロジェクターの操作等、担任の先生にお手伝いいただく。</p>	
	20分	内容の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示板に書き込まれた人は、どんな気持ちだったでしょう。 ・掲示板に書き込んだ人の気持ちは、どんなだったでしょう。 ・洋平君は、なぜ人権擁護委員の古橋さんに相談しましたか。 ・インターネットを使うにあたって気をつけなければならないことはどんなことでしょうか。 ・いじめをなくすにはどうしたらよいでしょうか。 	
まとめ	5分	本日のまとめ	<p>◆本日の内容の総論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめを見たとき、どう行動するか確認する。 <ul style="list-style-type: none"> →黙って見ていたり、一緒に笑っていたりしていけない。 いじめを見たり聞いたりしたら、大人に相談する。 ・普段からいじめを起こさないためにすることを確認し行動につなげる。 <ul style="list-style-type: none"> →普段から相手の良いところを見つける。 <p>◆「子どもの人権110番」、「SOSミニレター」、「LINE人権相談」、「# No Heart No SNS（※）」(https://no-heart-no-sns.smaj.or.jp/) の紹介</p> <p>※法務省が、総務省やSNS事業者団体と共同して取り組んでいる、SNS上のやり取りで悩む方に役立てていただくための特設サイト</p>	

(メモ欄)

(メモ欄)

(メモ欄)

(メモ欄)

人権相談はこちらへ



人権イメージキャラクター
「人権まもる君」

人権についての全般的な相談はこちら

みんなの人権110番

(全国共通)

ゼロゼロみんなのひやくとおばん

0570-003-110

この電話はあかけになった場所の都府県の法務局・地方自治体につながります。



子どもに関する相談はこちら



子どもの人権110番

(全国共通・通話料無料)

ゼロゼロみんなのひやくとおばん

0120-007-110

学校でのいじめ、虐待などの相談に応じます。



女性に関する相談はこちら

女性の人権ホットライン

(全国共通)

ゼロナナゼロのハートライン

0570-070-810

パートナーからの暴力、職場でのセクハラなどの相談に応じます。



SNS (LINE) による人権相談

アカウント名：「SNS人権相談」

検索ID：@snsjinkensoudan



インターネット人権相談



<https://www.jinken.go.jp/>

外国語による人権相談

0570-090911

英語、中国語、フィリピン語、ポルトガル語、ベトナム語、ネパール語、スペイン語、インドネシア語、タイ語

人権擁護委員

(連絡先)

